

柿の実

愛()がいっぱい | J | R | 小

'21 井尻小学校便り
No.10
2022.1.24 発行
甲州市立井尻小学校



学校教育目標
「豊かな心もち自ら
切り拓く子どもの育成」



気付き
考え
実行する

今年もよろしくお願いいたします。

新しい年を迎えました。今年も新型コロナウイルス感染症の話題が続いています。終息に向かうどころか新しく変異したオミクロン株が猛威を振るっています、少しでも早く学校教育活動が正常に行える日が来ることを願うばかりです。今年もよろしくお願いいたします。

さて、新しい年の幕開けとともに3学期が始まりました。短い学期ですが、今年度のまとめの学期として、また、来年度の準備の「0学期」として、しっかりと地に足をつけて取り組んでいきたいと思えます。

【 感染症対策の3つの柱 】 **学校、家庭、地域のみんなで徹底して取り組みましょう。**

① 感染源を徹底的に避けること

集団感染の発生する3つの条件（密閉、密接、密集）が同時に重なる場を徹底的に避ける。

② 感染経路を断つこと

手洗い、マスクの着用などの咳エチケットを徹底する。

「い・じ・り」(い…1m以上離れよう。じ…時間をかけて手を洗おう。り…利用しようマスク)

③ 抵抗力を高めること

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。

練習の成果を発揮して

3学期が始まってすぐの13日(木)、「校内書き初め大会」が行われました。冬休み前から練習を始め、冬休みの期間中も課題として取り組み、本番に臨んだ子供たち。当日は、これまでの練習の成果をしっかりと生かせるように頑張っていました。なかなか納得のいく作品が仕上がらず何回も追加で書く子、一番最初の作品が一番良かったと提出する子、様々でしたが、皆一生懸命に取り組んでいました。

18日には校内で審査会を行いました。そこで見た作品はとても素晴らしい作品でした。私自身は習字がとても苦手でした。廊下に習字を張られるのがいつも恥ずかしかったので、このように素晴らしい作品を小学生が書けることに驚いてしまいます。

かっこよかった車は一生の思い出

冬になると思い出すことがあります。今年は特に井尻小に勤務しているので、鮮明に思い出します。それは小学校4年生の冬でした。同級生の男子ほぼ全員が校庭で遊んでいました。よくわからないのですが校庭には4年生しかいませんでした。すると井尻小南側の道に白くて低い1台のスポーツカーが停まりました。昭和の40年代ですから車高の低いスポーツカーを見かけることなど皆無に等しく、4年

生全員が遊ぶのをやめて、そのスポーツカーの脇に駆け付けたのです。その車高の低さにも驚きましたが、2人乗りの車が存在することにも驚きました。そしてボンネットをなめるように見ていると、私の前で2つの三角形の蓋がゆっくりゆっくりと上がってきたのです。その中にはヘッドライトが入っていました。リトラクタブルヘッドライトというやつです。運転していた方は我々に気さくに話しかけてくれたことを覚えています。どうやら当時の井尻小2年生の子の叔父さんにあたる方だったようです。その車の名前は『TOYOTA 2000GT』と言います。小学生って何が一生の思い出になるか分からないですね。現代の井尻小の児童にも、大人が思いもつかないいろいろな思い出を作ってほしいと思います。

— い・じ・り・の・こ —

全校で「なわとび」

3学期、井尻小の児童は全校で「なわとび」に励んでいます。休み時間になると校舎前のところには大勢の児童が来て「なわとび」の練習を行っています。小学生がチャレンジする種目も多種多彩で器用に跳んでいます。昔は「前まわし跳び」「駆け足跳び」「二重跳び」ぐらいしか種目がなかったように思います。「二重跳び」なんかができる、もうクラスのヒーローでした。しかし、道具としての「なわとび」もだいぶ進化しています。単純な道具の中に「跳びやすくするための工夫」がぎゅうぎゅう詰めになっているのです。そんな道具の助けもあって現在の井尻小の児童の跳んでいる種目は多種多様となっています。このようなコロナ禍ですので、校庭に全校で集まるときには3mぐらいの間隔をあけています。そこで「あや跳び」「交差跳び」「サイドクロス」「はやぶさ（あや二重）」「つばめ（こうさ二重）」さらには「後ろ二重跳び」などの大技を軽々とやる姿が見られます。今日も1年生が「校長先生、見て見て」と呼ぶので行ってみると「こうさ跳び」や「あや跳び」を前後とも軽々と跳んでいるところでした。なわとびは健康にもとても良いと聞きます。道具も「なわとび」1つあればすぐにできます。保護者や地域の皆様もぜひこの冬チャレンジしてみたいはいかがでしょうか。



屋内用ハードルをいただきました。

昨年末に保坂前教育長より屋内用のハードルを10脚寄贈していただきました。大変立派な体育用具であり、ハードルはこれまで雨の日にはなかなか練習ができなかった陸上種目ですが、これからは雨を気にしなくてもすみそうです。最大限有効活用して児童の成長のために役立てていきたいと思っています。

